

指名競争入札の試行結果について

1 試行の目的

本県では、平成19年度から条件付一般競争入札を導入しているが、特に少額工事において、

- 地域密着型工事で、手続期間が長いため苦情が寄せられる事例の発生
- 応札者なしの事例の発生

などの課題が指摘されている状況を踏まえ、談合防止のための対策を講じたうえで、平成20年度に指名競争入札を一部抽出試行し、検証することとした。

2 入札制度等監視委員会からの意見

指名競争入札の一部試行に際して、平成20年2月、入札制度等監視委員会から下記のとおり意見が提出されている。

- ① 今回の措置はあくまで「試行」であり、期間は1年間、工事規模は1,000万円未満という限定を厳密に守ること。
- ② 指名制度の「一部試行」のモニタリングを綿密に行うこと。
常識的には、「一部試行」は「全面実施」の前段階と位置づけられるものである。しかし指名の再導入は談合復活のリスクをはらむものであるから、試行の結果、積極的なプラスの効果が実証されないときは取りやめるという選択肢を用意すべきである。
- ③ 「試行」にかかる事案において、仮に一件でも談合の事実が確認された場合は、その時点でただちに「試行」を中止することもありうること。
「試行」の下で入札談合が行われた際のペナルティは、当該企業だけでなく指名制度そのものに対しても課されるべきであると考える。

3 今年度の試行結果

指名競争入札については、農林水産部及び土木部発注の予定価格1千万円未満の工事を対象に抽出して試行を行っているが、12月末時点で213件の実績があり、その試行結果は以下のとおりである。

① 入札手続期間の短縮化

指名競争入札は、工事の起工決裁から契約までに要する理論上の日数が短い
ため、地域に密着した工事の発注が迅速に行われると想定していた。

試行結果を見ると、業者選定の透明性を確保するため、

- ・ 選定の審査を発注機関から出納局（室）が事務局となっている地方入札
参加条件等審査委員会に変更したため、発注機関と審査委員会とで二重に
手続を行っていること
- ・ 発注機関において、指名条件設定の妥当性の検討など、より慎重に指名
業者を選定したこと

などから、想定よりも期間を要している。

	条件付一般競争入札 (予定価格1千万円未満)	指名競争入札
実際の平均日数	約37日	約30日
想定していた日数	約35日	約14日

② 応札者の確保

指名競争入札は、地域性や施工実績を考慮して業者選定を行うため、応札者
なしの事例が減少すると想定していた。

試行結果を見ると、約6割の案件で辞退が発生し、さらには全員辞退の工事
も数件発生しており、その理由については、

- ・ 金額が小さい工事や現場条件が厳しい工事で採算がとれない
- ・ より有利な工事に技術者を配置したいので、当該工事には配置できない
など、辞退理由が条件付一般競争入札に参加しない理由と同様であり、条件付
一般競争入札との違いは見られない。

	条件付一般競争入札		指名競争入札
		うち予定価格1千万円未満	
応札者なし(全員辞退)	28件	11件	4件
上記の発生割合	1.6%	2.4%	1.8%

なお、指名競争入札では、競争性の確保の観点から、応札者が1者の場合は
入札を中止している。現在まで、1者応札により入札中止となった工事は3件
発生しており、契約にならなかった工事の発生割合は増加している。(計7件、
3.2%)

③ 談合情報に基づく調査

昨年度は、談合情報に基づいて4件調査を行い、うち1件を無効としたが、今回の試行期間中は、談合情報が寄せられていない。

④ 工事成績評定点の比較

品質確保の観点から、今年度完成済み工事の成績評定点を比較すると、指名競争入札と条件付一般競争入札とで、大きな差は見られない。

	条件付一般競争入札		指名競争入札
		うち予定価格1千万円未満	
対象件数	441件	105件	40件
工事成績評定点	78.9点	77.6点	78.5点

⑤ 低価格入札の発生状況

- 平均落札率は、指名競争入札の方が条件付一般競争入札より高い。
- 最低制限価格を下回る失格や落札率80%未満の発生割合は、指名競争入札の方が条件付一般競争入札より低い。

	条件付一般競争入札		指名競争入札
		うち予定価格1千万円未満	
平均落札率	83.45%	82.85%	87.84%
失格の発生割合	36.5%	41.4%	7.5%
落札率80%未満の割合	41.6%	52.3%	24.9%

⑥ 指名の状況

指名競争入札の対象となる格付け要件は、予定価格1千万円未満の一般土木工事の場合には、B、C、Dランクであるが、地域性や施工実績などの条件により業者を選定する傾向が見られることから、下位ランク業者の指名される割合が低くなっている。

(一般土木工事)

	名簿登録者数	指名を受けた業者数	割合
Aランク	133者	88者	66.2%
Bランク	304者	232者	76.3%
Cランク	337者	76者	22.6%
Dランク	389者	32者	8.2%
合計	1,163者	428者	36.8%

なお、施工条件の厳しい工事など特殊な場合には、Aランクを指名に入れている。

⑦ 建設関係団体等からの意見

平成20年11月13日、入札制度等監視委員会が建設関係団体等から聞き取りを行った際、以下の意見が述べられた。

○ (社) 福島県建設業協会

(指名競争入札の試行について)

- ・ 不適格業者が参入しやすい小規模工事、下位ランク工事、又は工事の態様等を踏まえ、品質の確保のため技術・施工管理能力を備えた者を発注者責任において指名競争入札に付することは必要不可欠と考える。

○ 入札制度等監視委員会が聴き取りを行った個別事業者

(県の入札制度について)

- ・ 条件付一般競争入札は、弱小企業の参加機会が増えるのでありがたい。
- ・ 指名がなければ実績ができない、実績がなければ指名がない、という中においては、条件付一般競争入札は、大きな一光である。

⑧ 全国の状況

全国の状況を見ると、一般競争入札の対象範囲が拡大し、指名競争入札の対象範囲が狭くなっている。

一般競争入札の 下限金額の範囲	都道府県数	
	H19.9.1現在	H20.9.1現在
250万円超	6	12
800万円～		2
1000万円～	12	13
3000万円～	9	9
5000万円～	9	8
1億円～	7	1
3億円～	4	2
合計	47	47

250万円超：12県（岩手、秋田、山形、福島、神奈川、長野、三重、福井、大阪、和歌山、佐賀、宮崎）

指名競争入札の試行状況

対象工事…H20.4～12月まで契約分

比較内容		条件付一般競争入札		指名競争入札 (予定価格 事前公表)	備 考
			うち予定価格 1千万円未満		
工事件数		1,672	447	213	
落札率	平均(%)	83.45	82.85	87.84	
	最高(%)	100.00	100.00	99.69	
	最低(%)	73.29	74.88	75.36	
入札参加者数	平均参加者数	7.3	7.2	8.5	
	参加者累計	12,195	3,225	1,810	
指名者数	平均指名者数			10.4	
	指名者累計			2,213	
入札手続期間	実際の平均日数		37	30	
	想定していた日数		35	14	
工事成績評定 点	対象件数	441	105	40	
	工事成績評定 点	78.9	77.6	78.5	
最低制限価格 を下回る失格	発生件数	610	185	16	
	発生件数／総件数 (%)	36.5	41.4	7.5	
	総失格者数	2,332	565	36	
	1件当たり失格者数	3.8	3.1	2.3	
	総失格者数／参加者 累計(%)	19.1	17.5	2.0	

指名競争入札の試行状況

対象工事…H20.4～12月まで契約分

比較内容		条件付一般競争入札		指名競争入札 (予定価格 事前公表)	備 考
			うち予定価格 1千万円未満		
落札率 80%未 満	発生件数	696	234	53	
	発生件数／総件数 (%)	41.6	52.3	24.9	
指名の 辞退	発生件数	/	/	127	
	発生件数／総件数 (%)	/	/	59.6	
	総辞退者数	/	/	403	
	1件当たり辞退者数	/	/	3.2	
	総辞退者数／指名者 累計(%)	/	/	18.2	
	最大辞退者数	/	/	11	
	最小辞退者数	/	/	1	

応札者がなかった工事

比較内容	条件付一般競争入札		指名競争入札	備 考
		うち予定価格 1千万円未満		
応札者なし(全員辞退)	28	11	4	
上記の発生件数／総件数(%)	1.6	2.4	1.8	

※(参考)

比較内容	条件付一般競争入札		指名競争入札	備 考
		うち予定価格 1千万円未満		
1者応札で入札中止	/	/	3	